あんずの木

平成 30 年５月号　　NO.24

衣替えって６月でしたよね？と勘違いしてしまう陽気です。でも青空は、ちゃんと５月だなと思います。放デイのお迎えに学校へ行ったとき、授業が終わるまで少し時間がありました。久しぶりに両手を広げて深呼吸をしました。雲が動くのをジッと見つめたのも久しぶりでした。

新学期が始まり、慌ただしかった４月だったと思いますが、一日一日歩んできた時間に変わりはありません。「おはよう」「いってきます」「いってらっしゃい」「おかえり」「ただいま」「おやすみなさい」の回数も、いつもと同じだったはずですね。その日その日の出会いと、少し違った経験が、何かを少し成長させたかもしれません。それは、もしかしたら『前進』『発見』『出直し』『修正』と、一人ひとり言葉は違うかもしれませんが、５月にきっと活きてくるはず。

もう、汗をかく日が多くなります。疲れたときには、心も身体も休憩と栄養補給を忘れずに。

―５月・６月の予定―

５月 21 日（月）　ＳＴ（児童）
５月 22 日（火）　地域連携日（児童・放デイ共にお休みです）
６月　７日（木）　ドクターＮの医療相談（14：00～16：00）
６月 15 日（金）　地域連携日（児童・放デイ共にお休みです）
６月 22 日（金）ＳＴ（児童）

＝お知らせ＝

≪年間予定表をお配りします≫

遅くなりましたが、30 年度の年間予定表をお配りします。
８月 13 日（月）～17 日（金）まではお盆休みになります。
さぽねっと祭りは 10 月 27 日(土)に行います。内容は今年も早めにお知らせします。
児童の卒園式は、幼稚園保育所との関係で未定です。決まり次第お知らせします。
地域連携日は、すでにお知らせしたとおりです。スケジュールの確認をお願いします。

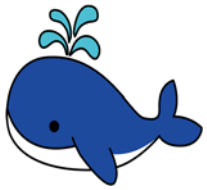
≪ドクターＮの医療相談≫

埼玉医大総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別医療相談を、６月７日（木）に行います。時間は 14:00～16:00 です。（一人 30 分枠　４枠）

まだ２枠空きがありますので、是非積極的にご活用ください。

≪ST・OT を紹介します≫

あんずの児童には、非常勤でＳＴ(言語聴覚士)の平野千枝先生が月１回、同じく非常勤でＯＴ(作業療法士)の岩田考史先生が月３回（当面主に火曜日）来ています。ことばやコミュニケーションのこと、運動や手先の使い方のことについて支援に入りますので、よろしくお願いします。



くじらクラスの４月あれこれ

　４月は変化がいっぱい。あんずに来る日が替わったり、お部屋が替わったり、お友達、職員が替わったり…。 子どもも大人もドキドキがいっぱいの一ヶ月でした。
朝から“ドキドキ”“ザワザワ”と、みんな何だか落ち着かない。
でも、そんな気持ちが１２時になると、スッと治ります。給食の時間は“変わらない時間”だからですね。給食で気持ちをリセット！そして、パワーをチャージ!!笑顔になり、楽しいおしゃべりが始まる“くじら”さんたち。そんなクラスの雰囲気に、あんずに新しく仲間入りしたお友達も、初めての給食なのに思わず食べちゃう姿がありました♡
　“変わらない”“安心”の給食の時間を軸にして、今はドキドキしちゃう時間も、ワクワクする時間に少しずつ変わっていくといいなと思います。

ペンギンクラスの４月あれこれ

　ペンギンクラスがスタートして１カ月。
新しい出逢いの多い４月ですが、みんなの「よく見る力」に驚かされてしまう毎日です。
「よく見ること」で「わかること」につながり、「できた!!」を重ねることで、「やりたい!!」につながります。「よく見る」って、とても大切な力ですね。
　みんなの大好きな“朝の会”のバランスボール。「これ知ってる!!」のワクワクした顔。
「やりたい!!」と楽しみに待つ時間。楽しいことが待っているから、ちょっぴり我慢する力もわいてきちゃう!!そんな頑張りパワーがあふれています。
　ぐんぐん育ち、丈夫な葉をつける新緑のように、みんなの「楽しかった!!」「できたよ!!」が大きく育ちますように♡
　みんなでたくさん笑いながら、
　　力強く前進していくペンギンクラスにしていきたいと思っています。

放デイのひとり言

　新たなお友達を迎え、新年度の放デイの一カ月が終わりました。最初の週は自己紹介で始まり、自分の名前や学校を発表し、ちょっと緊張したムード。でもそこは子ども達、オモチャで遊んでいるうちに仲良くなり、上級生のお兄さんお姉さんは、新一年生に優しく声をかけ、手を引いて、次の活動のためにホールに導いたりと、微笑ましい姿が見られました。
　放課後のあんずで過ごす時間が、「楽しい「心地よい」場所になるよう創意工夫し、私たちも元気いっぱいな子ども達と一緒に前進していきたいと思います。
　若葉の季節となり、日差しも強くなってきました。活動などで汗をかくことも増えますので、ハンカチ等忘れずに持たせてあげてください。
それから、けが防止及び防災の観点から、
　　上履きの持参をお願いします。

保育所等訪問支援の４月あれこれ

新しい担任の先生との出会い、お部屋の移動など、「聞いてはいたけど、そうなんだぁ」と、子ども達の顔に描いてあった４月でした。スムーズに移行している子もいれば、昔していた遊びをポケットから引っ張り出してきて、落ち着こうとしている子も。ひとつクラスが上がったんだと張り切る笑顔と、頑張りすぎて楽しいけれどガス欠する姿。「５月に伺う頃には、きっと新しい服も馴染んでいるだろうな。大丈夫、大丈夫！」と思わせる余裕が、じつは子どもの背中には漂っていました。今年度もよろしくお願いします。実のある訪問にしていきたいと思います。

つながりリレーコラム　　第１３回目は、生活支援センター日向の　山口　香奈　さんです。

仕事をしていると“つながり”という言葉をよく耳にしますし、よく使います。

つながりの意味を調べると、「結びつきや関係があること、また、人とのつながりとは、自分一人ではないと感じられた時に感じるもので、一人じゃないと感じられるのは、誰かが自分のことを分かってくれた、あるいは、受け入れてくれたと感じること」と書かれていました。

私自身、どんなときに“つながり”を感じるのか考えたときに、以前働いていた会社のことを思い出しました。その会社には“お互いに尊厳と威厳を持って接し、働きやすい環境を作る”という、働く上でスタッフ一人ひとりが互いに心がけるポリシーのようなものがありました。それは、社員だろうがアルバイトだろうが、すべてのスタッフが対等の立場で、お互いに認め合い協力しながら働きましょう、という意味を持っていました。お互いに認め合い協力しながら働くとは、どういうことか？なのですが、その仕事は、チームでひとつのものを作り上げ、それを提供していくという仕事でした。一人ひとりの役割は決まっているので、自分の担当した役割を精一杯こなし、責任を持って、途切れることなく次へつなぎます。最終的に提供できればチームとしての役割は終了なのですが、“つながり”という視点見ると、この一連の流れ自体がそうだったのかもしれません。

また、チームとしての役割を完結させていくには、人と人がつながることも必要になります。相手の人が、今どんな役割でどのくらいできるのかを判断し、時には、役割の範囲を超えて助け合うこともたびたびありました。次の人へ責任を受け渡していくのですから、お互いがお互いの役割を理解し認め合っていること、「一人ではない」「この人ならお願いできる」という、安心感や信頼感のようなものがあるからこそできるのだと思います。人との“つながり”は、このようなところから感じられるのかなと思います。

何かを作り上げていく過程では、それぞれを組み合わせたりつなぎ合わせたりしながら完成させていくことが大半です。それは物と物かもしれないですし、人と人なのかもしれません。以前も今も“つながり”を大事にしている仕事に就かせていただいています。

今回、改めて考える機会にもなりましたし、大事にしていきたいと思います。

☆お　礼☆

新年度に向けて、児童の時間で使用しているウォールポケットを放デイのお母さんに作っていただきました。大切に使わせていただきます。その他、Bumbo（赤ちゃん用椅子）、絵本、教材用の片栗粉と小麦粉、タオル、ティッシュをいただきました。

新年度をスタートする上で本当に助かりました。ありがとうございます。